

学校運営協議会 議事録

校名	府立豊島高等学校
(准)校長名	浦山 聖

開催日時	令和4年2月17日(木) 14:00～15:30
開催場所	府立豊島高等学校1階 校長室
出席者(委員)	東前委員、安藤委員、大石委員、(家島委員)
出席者(学校)	浦山校長、三谷教頭、藤井事務長、板倉教諭、池尾教諭
傍聴者	
協議資料	令和3年度 学校経営計画及び学校評価、第2回授業アンケート 他
備考	

議題等(次第順)

- ・令和3年度 学校経営計画及び学校評価
- ・令和4年度 学校経営計画及び学校評価
- ・第2回授業アンケート結果について
- ・学校教育自己診断結果報告
- ・2021年度45期生 入試結果速報
- ・前回の検討事項
- ・その他

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 令和3年度 学校経営計画及び学校評価について
 - ・意見なし
- 令和4年度 学校経営計画及び学校評価

早くきたらメリットがあるといいのでは？8年間ずっと改善されていないので、何か方法がないか？→年々、色々な事情を抱えている生徒が増えているのは事実。今まで通りではない。

 - ・遅刻の指導はどのようにされていますか？→生活習慣を整えようという意図で、月カウントで一定回数遅刻すると早朝登校をしてもらっています。
 - ・ヤングケアラーの数は？→アンケートの結果、すべてが任意なのだが、2人が該当した。回答があった件数は母数の5から6分の1の生徒なので、全体で10名ほどだと推測されます。
 - ・ボランティアへの取り組みで清掃だけでなく、校外に出て自分がどう生きていくかという機会を与えてはどうか。何をどう学んでいいかわからないので、ボランティアを通して気持ちをどう向かわせるかがきっかけになるのではないか。
 - ・わかる授業・先生が話を聞いてくれるなどから、学校そのものに来る意欲が出れば、学校に向くのではないか。コロナによりやりたいことがやれない学校になっていけばマイナス要因になって影響している可能性がある。
 - ・遅刻の数は他校との様子と比較する必要があるのではないか。周りが減っているのにうちが増えていると本校に問題があるだろう。
 - ・生徒会とPTAが懇談する場を作っている学校もあり、必要に応じて予算を出すこともできる。
 - ・生徒に先生役をさせてはどうか、アウトプットができる環境作りが必要なのではないか、生徒からの発信が常に行えたら生徒の意識が変わっていいのではないか、受け身を主体的に変える取り組みをしてはどうか。
 - ・自主自立のときの2月祭はどんな取り組みですか？→文化部の生徒が昼休みや放課後に発表する場を設けています。
 - ・保護者向けに2月祭の案内はできていますか？→出来ていない。→保護者とのコミュニケーションという点でも発信した方がよいのではないか。
 - ・ゾーンとは何か？→ゾーンとはベネッセが定めている学習到達ゾーンのことです。学力の位置をS1からD3までの15段階で評価における絶対評価で表しています。
- 第2回授業アンケート結果について
 - ・意見なし
- 学校教育自己診断結果報告
 - ・社会参加やボランティア活動が学びの場となり、生徒にとって大きな変化になるのではないか。そういった場を提供するのが必要ではないか。
 - ・先生の心のバランスが崩れないか心配。先生が元気がなかったら生徒たちはついていきたくない。先生のケアもしてほしい。
 - ・先生が生徒に頼るのはどうですか？生徒は頼りにされると嬉しいと思う。
- 2021年度45期生 入試結果速報
 - ・意見なし
- 前回の検討事項
 - ・業務に対して増員ができないのか？現場から現場の状況を発信していかないと上の人はわからないのではないかと→上の人も倍くらい業務をこなして疲弊している。さらにその上で増員の声は上げている。
 - ・教育で重要なのは対面で行うことであることがこのコロナ禍を通して分かった。大阪府の政治の動きはわからないが、ICT機械を増やしたからといって先生を減らしても良い訳がない。対面の重要性が再認識されている。現場から絶えず現状を伝えていかないと、回り回ってどうなるかを具体的に伝えていくことが本当に大切だと思う。現場の声が一番大切だ。

次回の会議日程

日時	令和 4 年 6 月 日()15:30～
会場	府立豊島高等学校1階 会議室(予定)